

特集

# 英語で楽しむ 「絵の見方」

風が心地よくなり、ひつじ雲が日差しを和らげる。芸術に浸りながら秋を楽しむのもまた一興。ところで、名画の前に立ったとき、こう感じる人も多いのではないだろうか、「なんかすごいけど……よくわからない!」と。美術館の音声ガイドを聞いてみたりするが、歴史的背景や物語はわかって、作品そのものをどう見たらよいのか、やはりよくわからない。本特集では背景知識は最小限に、「自分の目」で鑑賞するときのとっかかりとなる絵の見方を英語とともにいくつか紹介する。さて、その見方とは？



執筆：秋田麻早子

美術史研究家。岡山県岡山市生まれ。

2002年テキサス大学オースティン校美術史学科修士課程修了(MA)。

専攻はメソポタミア美術で、トークン研究で知られるシュマント=ベッセラに師事。

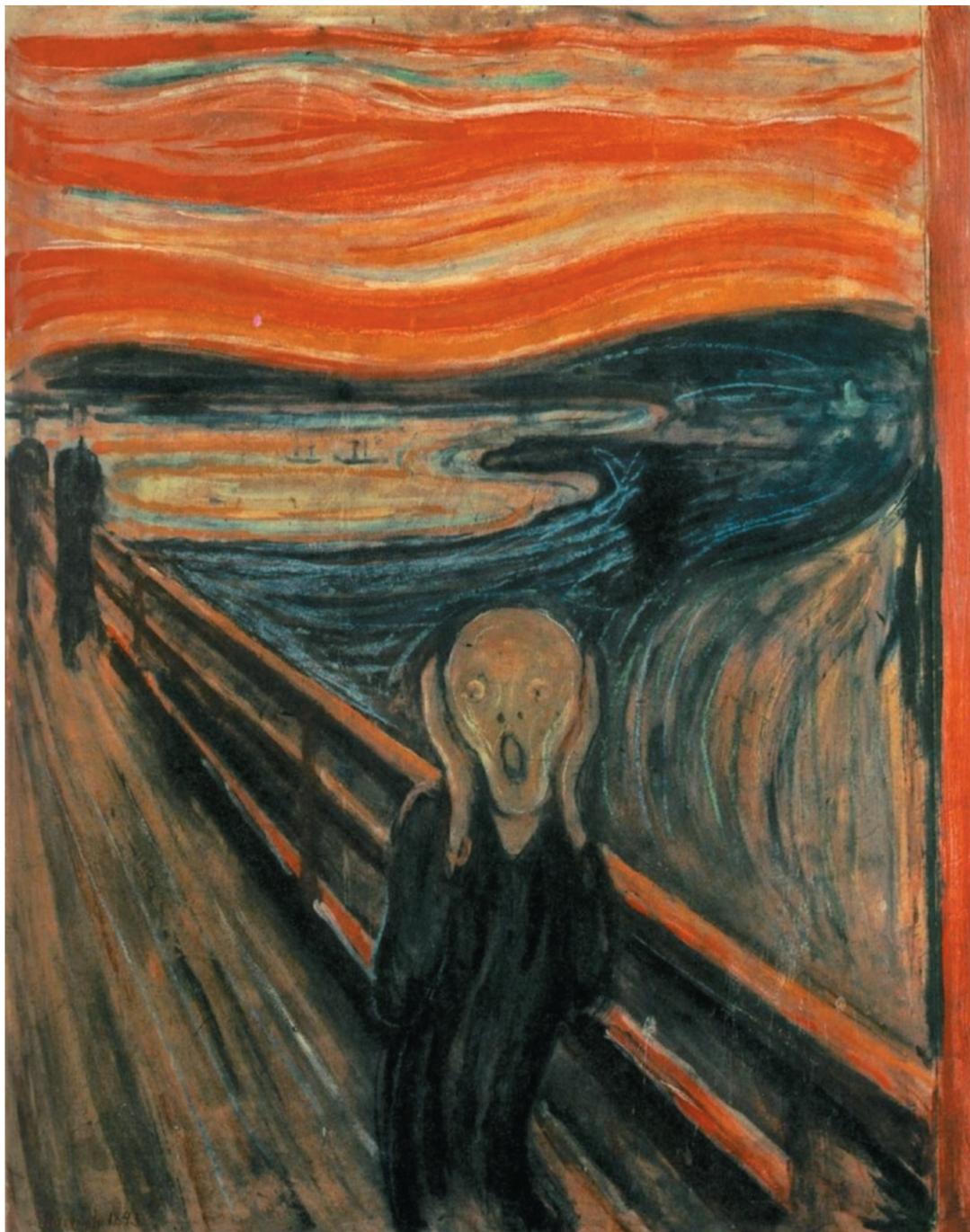
著書に『絵を見る技術 名画の構造を読み解く』(朝日出版社)。

編集：飯田恵美 英訳：Dean Robson

rangizz/Shutterstock.com (p.18)・LenaBelkin/Shutterstock.com (p.18上、pp.19-21下)・Africa Studio/Shutterstock.com (p.18下、p.25上)・Elena11/Shutterstock.com (p.19上)・National Gallery of Norway/Wikimedia Commons (p.19)・Rudchenko Lilia/Shutterstock.com (p.21上、p.24上、p.27下、p.32上下)・Galleri Nor/Wikimedia Commons (p.21下)・Art Institute of Chicago/Wikimedia Commons (p.22)・na-um/Shutterstock.com (pp.22-24下)・Svitlana Martynova/Shutterstock.com (p.23上)・Figge Art Museum/Wikimedia Commons (p.24下)・jessicahyde/Shutterstock.com (pp.25-27下)・National Gallery/Wikimedia Commons (pp.26-27)・Unknown/Wikimedia Commons (p.27右)・Galyna\_P/Shutterstock.com (p.28中央)・arteria.lab/Shutterstock.com (pp.28-30下)・Louvre Museum/Wikimedia Commons (p.29)・Louvre Museum/Wikimedia Commons (p.30下)・Belvedere/Wikimedia Commons (p.31)・humbak/Shutterstock.com (pp.31-32下)・Myrabella/Wikimedia Commons (p.32左)・Kyoto National Museum/Wikimedia Commons (p.32右)・Anton Josef Trčka/Wikimedia Commons (p.32下)・Alim Yakubov/Shutterstock.com (p.33)

# 絵を「見る」ってどういうこと？ 見てわかることはこんなにある！

「絵はどうやって見るの？」という美術初心者にぜひ知ってほしい——背景知識がなくても、目の前の絵画を見るだけでわかることはたくさんあるのだ。まずは難しく考えずに見ていこう！



Edvard Munch, *The Scream*

エドヴァルド・ムンク 『叫び』 1893年 オスロ国立美術館